

群馬県JAの地域密着型金融について ～取組事例紹介～



『群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」』許諾番号(26-190777)

平成26年10月
JAバンク群馬
(農林中央金庫前橋支店)

群馬県には15の総合JAがあります。それぞれのJAが、地域農業や地域の皆様のお役に立てるよう、様々な活動を展開しています。

JAの状況図



総合JAの地区

JA

管内の市町村（カッコ内は旧市町村）

赤城たちばな	渋川市（北橋村・赤城村）
前橋市	前橋市（前橋市・大胡町・宮城村・粕川村・富士見村）
佐波伊勢崎	伊勢崎市（伊勢崎市・東村・境町・赤堀町）・玉村町
たかさき	高崎市・玉村町（板井地区）
はぐくみ	高崎市（倉渕村・箕郷町・群馬町・榛名町）
たのふじ	藤岡市（藤岡市・鬼石町）・高崎市（吉井町・新町）・ 神流町（万場町・中里村）・上野村
甘楽富岡	富岡市（富岡市・妙義町）・下仁田町・南牧村・甘楽町
碓氷安中	安中市（安中市・松井田町）
北群渋川	渋川市（渋川市・子持村・小野上村・伊香保町）・榛東村・ 吉岡町
あがつま	中之条町（中之条町・六合村）・東吾妻町（吾妻町・東村）・ 長野原町・高山村
孺恋村	孺恋村・草津町
利根沼田	沼田市（沼田市・白沢村・利根村）・みなかみ町（月夜野町・ 水上町・新治村）・川場村・昭和村・片品村
にったみどり	みどり市（笠懸町・大間々町・東村）・桐生市（桐生市・ 新里村・黒保根村）・太田市（新田町・尾島町）
太田市	太田市（太田市・藪塚本町）
邑楽館林	館林市・明和町・板倉町・千代田町・大泉町・邑楽町

A 農山漁村地域の活性化のための融資をはじめとする支援

1 農業融資商品の適切な提供・開発

- (1) 豪雪災害緊急対策資金の創設 JAバンク群馬

2 地域の農業者との関係を強化・振興する取組み

- (1) TACとの事業間連携による事業推進 JAはぐくみ
- (2) 農機具・家電大展示即売会の開催 JAあがつま
- (3) 出向く農業融資説明会 JA邑楽館林

3 農業経営管理支援事業

- (1) 営農再生プラン策定による経営改善支援, 長期・低金利の資金対応
JA甘楽富岡

4 農林水・商工連携にかかる商談会等開催

- (1) ビジネスマッチングを通じた販路拡大への取組支援 JAバンク群馬

B 担い手のライフサイクルに応じた支援

1 新規就農者への支援

- (1) JA「農の支援講座」の実施 JA北群渋川

2 セミナー・講演会等の開催

- (1) 農業男子とBBQ JA碓氷安中
- (2) 農業法人春季研修会の開催 JAバンク群馬

C 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

1 被災者への支援

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| (1) 市と連携した平成26年2月豪雪災害への資金対応 | J Aたかさき |
| (2) 平成25年9月竜巻災害に対する資金対応 | J Aにったみどり |

2 地域住民の農業に対する理解促進

- | | |
|-------------------------|----------|
| (1) 前橋市農業まつりの開催 | J A前橋市 |
| (2) J A佐波伊勢崎フェアの開催 | J A佐波伊勢崎 |
| (3) J A職員による家庭菜園教室開催 | J A利根沼田 |
| (4) 米作り体験を通じた地域の一体的な取組み | J A太田市 |
| (5) J Aバンクファミリーキャンプ | J Aバンク群馬 |

D その他（地域貢献・社会に根ざした商品提供）

- | | |
|-------------------|-----------|
| (1) マレットゴルフ大会開催 | J A赤城たちばな |
| (2) 自動車免許取得定期積金 | J Aたのふじ |
| (3) J A年金受給者への取組み | J A孺恋村 |

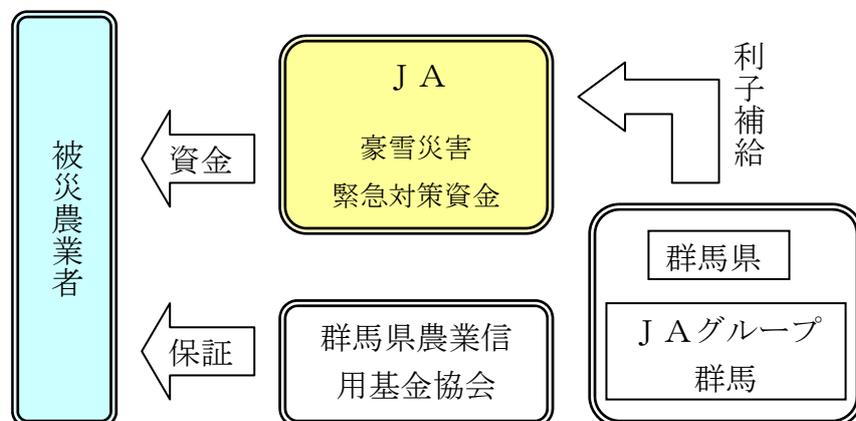
J A名：J Aバンク群馬（群馬県）

A-1 農山漁村地域の活性化のための融資をはじめとする支援（農業融資商品の適切な提供・開発）

豪雪災害緊急対策資金の創設

1 動機 (経緯)	平成 26 年 2 月の豪雪災害により記録的被害を受けたことに伴い、被災農業者に対する金融面の支援として「豪雪災害緊急対策資金」（県内 J A 統一要項資金）を創設しました。													
2 概要	本資金の借入に伴う被災農業者の金利負担を軽減すべく、J A が融資する当資金に対し、群馬県および J A グループ群馬の支援（利子補給）により、借入当初 5 年間を無利子とすることができました。資金の概要は以下のとおりです。													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資金名</th> <th colspan="2">豪雪災害緊急対策資金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金使途</td> <td>大雪により破損および倒壊した農業用構築物の復旧および補修にかかる代金</td> <td>農業経営の維持・継続に必要な運転資金</td> </tr> <tr> <td>融資上限額</td> <td>5,000 万円</td> <td>1,000 万円</td> </tr> <tr> <td>借入期間</td> <td>15 年以内（据置 2 年以内）</td> <td>7 年以内（据置 2 年以内）</td> </tr> </tbody> </table>		資金名	豪雪災害緊急対策資金		資金使途	大雪により破損および倒壊した農業用構築物の復旧および補修にかかる代金	農業経営の維持・継続に必要な運転資金	融資上限額	5,000 万円	1,000 万円	借入期間	15 年以内（据置 2 年以内）	7 年以内（据置 2 年以内）
資金名	豪雪災害緊急対策資金													
資金使途	大雪により破損および倒壊した農業用構築物の復旧および補修にかかる代金	農業経営の維持・継続に必要な運転資金												
融資上限額	5,000 万円	1,000 万円												
借入期間	15 年以内（据置 2 年以内）	7 年以内（据置 2 年以内）												
3 成果 (効果)	平成 26 年 3 月の取扱開始以降、県内 J A による本資金の取扱いは平成 26 年 7 月末時点の実行件数は 359 件です。群馬県からは本資金の利子補給枠 274 億円を措置いただいております。被害農業者への適切な資金対応を行っています。													
4 今後の 予定（課題）	豪雪被害の影響は大きく、引き続き被害にあわれた農業者の相談対応や資金対応等に取り組み、農業経営の復旧・再建に向けたサポートを継続します。													

【資金スキーム】



【復旧活動の様子】



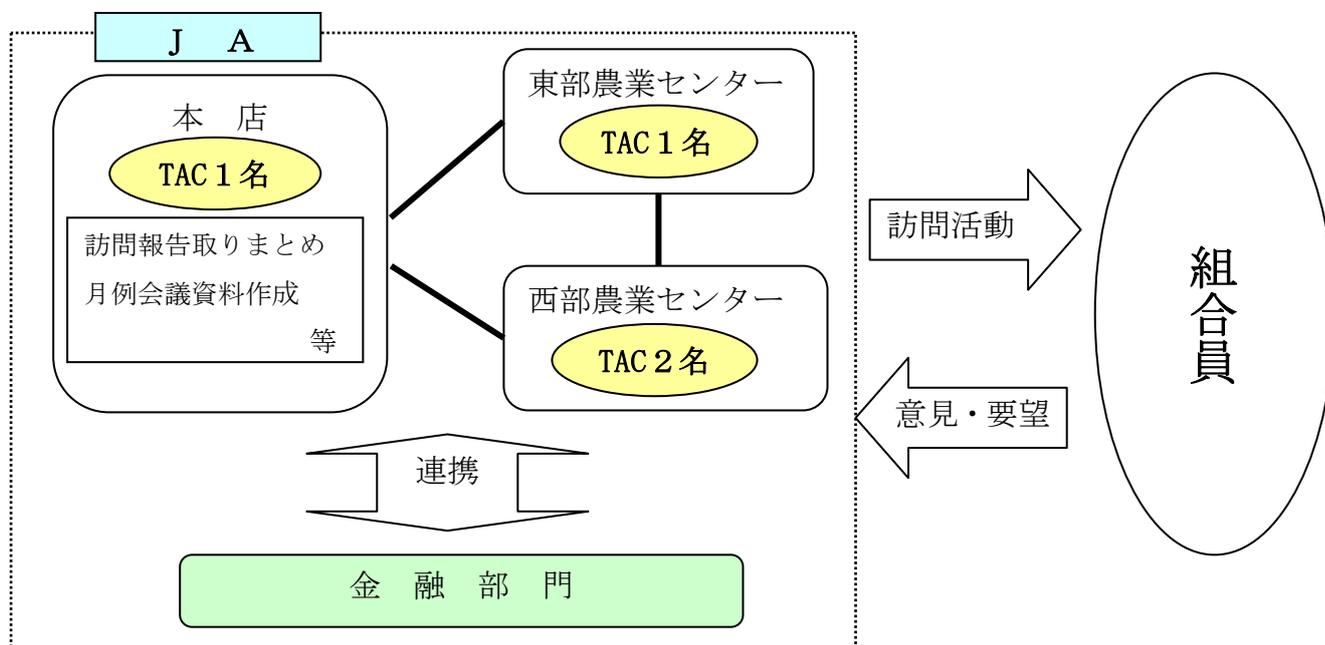
J A名：J Aはぐくみ（群馬県高崎市）

A-2 農山漁村地域の活性化のための融資をはじめとする支援（地域の農業者との関係を強化・振興する取組み）

TACとの事業間連携による事業推進

1 動機 (経緯)	TACによる訪問体制を構築する前は、組合員の方々との接点は、主に営農センターや店舗への来店時などに限られていました。しかし、多様化する組合員のニーズに応えるためには、組合員の自宅へ訪問する体制が必要との認識のもと、あらためて態勢を整備し出向く活動を開始しました。
2 概要	<ul style="list-style-type: none"> ■要員体制：本店1名、西部営農センター1名、東部営農センター2名の計4名 ■訪問先：地域農業の中核となる農業者を中心に訪問 ■活動内容：各担当が定期訪問先を中心に訪問活動を実施。資材や農薬関係業者と同行訪問することもあります。 ■活動管理：月例会議を開き月中の活動結果を報告。組合員の意見や要望等の情報を共有。速やかな回答・解決につなげます。
3 成果 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ○訪問の際に、実際に圃場を見ることで、作物状態を把握し、病気の発生を未然に防止し、発生してしまった場合でも早期に発見・対応することができました。 ○農薬や資材の活用を提案し、作物の生産性を向上、既存品目の拡大、新規品目の導入を促進しました。 ○TACが組合員から資金の相談等を受けた場合には、金融部門へ情報をつなぎ連携して組合員の資金ニーズに対応しました。 具体的には、定期巡回先の梅農家からの農機具倉庫の建設資金（260万円）への融資対応や、平成26年2月の豪雪災害時の組合員からの融資の延長や据置の相談対応などを行いました。
4 今後の 予定(課題)	今後も、組合員へ積極的に出向く活動を継続し、組合員の言葉に耳を傾け、信頼関係の構築に取り組みます。

【TAC事業推進体制】



J A名：J Aあがつま（群馬県東吾妻町）

A-2 農山漁村地域の活性化のための融資をはじめとする支援（地域の農業者との関係を強化・振興する取組み）

農機具・家電大展示即売会の開催

1 動機 (経緯)	農機具や農業機械は生産者ニーズの多様化に伴い、高性能・大型化の傾向にあり、取扱いにはさまざまな知識・技術が必要となります。しかし効率的な生産活動に農機具は必要不可欠です。そのため展示即売会を開催し農業形態に見合った農業機械の選択の場として、農機具の説明や最新の技術提供を行っております。
2 概要	■イベント名：農機具・家電大展示即売会 ■開催日時・場所 平成26年1月25日（土）・26日（日） 時間：9：00～16：00 ■展 示 農機メーカーや家電メーカー35社が参加。屋外にトラクター、室内の会場にはテレビやパソコン、太陽光発電システムを展示。会場では健康器具などの無料体験、なめこ汁の無料配布が行われました。J A職員は農機具等の商品の説明をしたり、農機ハウスローンチラシを配布し農業資金の案内を行いました。
3 成果 (効果)	最新の商品を手に取り触れていただき、来場者から多くの質問をいただきました。商品説明を通じて、J Aの営農部門や金融部門の事業についての理解を深めていただくと共に、農業者の方々との交流を深めることができました。
4 今後の 予定（課題）	今後も、組合員との重要な交流の場としての取組みとして継続的に本展示会を開催していく予定です。

【会場の様子】



JA名：JA 邑楽館林（群馬県館林市）

A-2 農山漁村地域の活性化のための融資をはじめとする支援（地域の農業者との関係を強化・振興する取組み）

出向く農業融資説明会

<p>1 動機 (経緯)</p>	<p>群馬県「はばたけ！ぐんまの担い手」支援事業は、認定農業者等の意欲ある担い手の育成等本県農業の将来を担う力強い経営体を育成することを目的に実施されています。</p> <p>当組合は、同事業の長期多年張の被覆資材など環境に配慮した取組みを支援する「新時代対応型」（補助率：15/100 以内：平成 25 年度）を活用した補助金残高の借入希望について、ハウス団地化されている複数の農業者から借入相談を受付しました。（営農部・経済部・金融部・支所の情報共有）</p>												
<p>2 概要</p>	<p>借入相談受付当初は、借入希望者それぞれから相談を受付している状況でありました。また、施設野菜（きゅうり）の苗の作付時期を考慮すると借入希望時期まであまり余裕がない状況でありました。</p> <p>当組合は、上記の状況を園芸部および経済部、金融部、支所において情報共有を徹底化し、各農業者へ各々に対応するのではなく、「出向く農業融資説明会」を開催し、借入希望時期までに制度資金をはじめとする融資対応を行いました。</p>												
<p>3 成果 (効果)</p>	<p>支援事業希望者および農業融資対象者は、8名でした。</p> <p>対象者のうち、農業融資説明会へ7名の参加をいただきました。</p> <table border="0" data-bbox="379 1256 1139 1384"> <tr> <td>融資実績等</td> <td>農業近代化資金</td> <td>4件</td> <td>2,230万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>農業バックアップ資金</td> <td>1件</td> <td>380万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自己資金</td> <td>2名</td> <td></td> </tr> </table>	融資実績等	農業近代化資金	4件	2,230万円		農業バックアップ資金	1件	380万円		自己資金	2名	
融資実績等	農業近代化資金	4件	2,230万円										
	農業バックアップ資金	1件	380万円										
	自己資金	2名											
<p>4 今後の予定（課題）</p>	<p>農業メイン強化先への訪問を継続的に実施し、資金の需要時期等を適切に情報収集・期日管理を実践し、獲得へ結びつける体制作りが課題。</p> <p>JAとしての使命である農業融資は、他金融機関に先手を打たれることなくひとつひとつの案件を確実に獲得するため、出向く情報収集の実践および出向く農業融資説明会を継続的に実施できる体制作りが重要です。</p>												

【被覆資材張替え後のハウス】



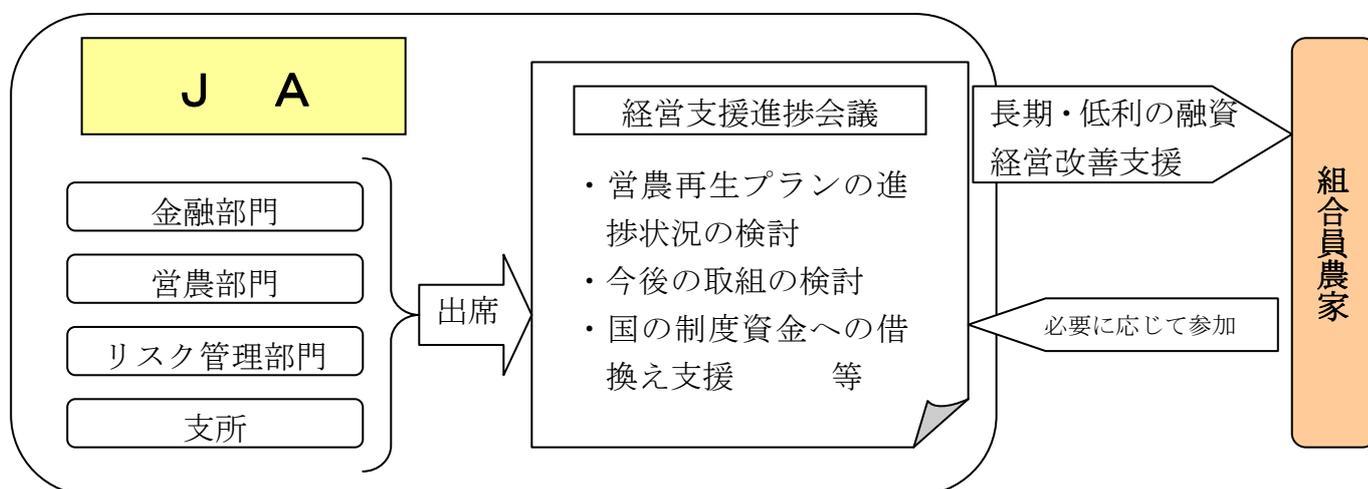
当JAイメージキャラクター
「でんえんまる」

J A名：J A甘楽富岡（群馬県富岡市）

A-3 農山漁村地域の活性化のための融資をはじめとする支援（農業経営管理支援事業）

営農再生プラン策定による経営改善支援，長期・低金利の資金対応

1 動機 (経緯)	飼料・肥料・燃料等の値上がりや農畜産物の価格低迷により営農負債が増加し、経営不振に陥ってしまった農業者への支援策として、「営農再生プラン」を策定し経営改善を図り、長期・低金利の資金として「農業経営支援特別資金」（以下「J A独自資金」）を制定し、専業農家へ低金利の資金を提供しました。
2 概要	<p>■目的：営農再生プランを策定し、農業経営の継続を希望する農家に対し、長期・低金利の資金を融通すること。</p> <p>■対象者：営農再生プラン適用農家。</p> <p>■限度額：緊急営農対策資金，平均払勘定，購買未収金の残高を限度額とし，営農再生プランに基づいて算出した融資実行可能額。</p> <p>■期間：15年以内</p> <p>■体制：営農再生プランを策定した農家については，四半期に1回J A内で開催する「経営支援進捗会議」で金融部門や営農部門等が連携して，計画の進捗状況やこれからの経営安定化に向けた支援について検討しています。</p>
3 成果 (効果)	<p>○購買未収金の大口取引先に対して証書化を図り，償還が困難な借入金を，J A独自資金へ一括で借り換えることにより経営の維持と安定を図りました。</p> <p>○J A独自資金から，より返済負担の少ない国の制度資金への借換えを支援することにより，組合員農家の返済負担軽減等の経営支援につながりました。</p> <p>○J A独自資金は，平成26年3月現在で案件数14件，金額で172百万円の実績となりました。</p>
4 今後の 予定（課題）	<p>1. 資金の円滑な償還促進に努めます。</p> <p>2. 組合員農家の経営管理に努めます。</p>



J A名：J Aバンク群馬（群馬県）

A-4 農山漁村地域の活性化のための融資をはじめとする支援（農林水・商工連携にかかる商談会等開催）

ビジネスマッチングを通じた販路拡大への取組支援

1 動機 (経緯)	J Aバンク群馬では、農業メインバンク機能強化の一環として、農林中央金庫が提供するビジネスマッチングツールの活用により、県内農業者等の販路拡大に向けた支援を行っています。
2 概要	農林中央金庫前橋支店の取引先であり、県産豚肉を中心に、食肉の加工・販売を行う法人から、販路拡大に向け、新規取引先の紹介依頼を受けました。 支店では当金庫のビジネスマッチングツールを活用し、ホテルチェーンや食品卸会社、製パンメーカー等、6社を紹介し、第1回目の商談に同行したほか、その後の商談結果等のフォローを通じて、成約に向けたサポートを行いました。
3 成果 (効果)	商談を重ねた結果、大手製パン会社との間で、県産豚肉を原材料とするベーコンを使用した惣菜パンの製造、販売をすることになりました。
4 今後の 予定 (課題)	当社については、ビジネスマッチング機能の提供により、販路拡大に向けた支援を継続していきます。 引き続き、県内農業者への訪問活動等を通じて、農業者からのニーズを的確に捉え、販路拡大に向けた支援を行っていきます。



工場での製造風景



J A 名：J A 北群渋川（群馬県渋川市）

B-1 担い手のライフサイクルに応じた支援（新規就農者への支援）

J A 「農の支援講座」の実施

1 動機 (経緯)	地域の担い手不足や高齢化が進むなか、新規就農者の裾野拡大や地域農業の振興を図るため、就農希望者や農業に関心のある方々を募集し「農の支援講座」を実施しています。
2 概要	農の支援講座は、講義形式と現地実習の2部構成としています。 【第1部】 ・野菜栽培の基礎知識を中心に1～3月までの間で計5回の講義を実施します。 ・主な内容としては管内の野菜栽培と流通、農薬の特性と適正使用、園芸資材と種子情勢などです。 【第2部】 ・管内の代表的な品目であるナス、チンゲン菜、ブロッコリー、ネギ等について、播種から収穫までの栽培管理を3～11月までの間で現地実習します。 ・管内の経験豊富な生産者がJ Aの営農アドバイザーとして、実習ほ場の提供や現地指導を行っています。
3 成果 (効果)	受講生のなかには新規就農し、J Aの販売事業の利用や直売所への出荷にまで至っている方がおります。J Aとしては就農支援だけでなく、その後の経営ステージにあわせた事業支援や資金相談等のニーズに適宜対応します。
4 今後の 予定 (課題)	本講座を通じ実際の生産者である営農アドバイザーとつながりを持つことが、就農にあたっての大きなメリットと感じており、本講座を継続し新規就農をサポートします。

【現地実習の様子】



JA名：JA碓氷安中（群馬県安中市）

B-2 担い手のライフサイクルに応じた支援（セミナー・講演会等の開催）

農業男子とBBQ

1 動機 (経緯)	農業後継者の確保や農村全体の活性化を図るため、平成25年度から、農業従事者の「婚活」をサポートすることにしました。
2 概要	第1回目である今回は「農業男子とBBQ」と題し、碓氷峠「くつろぎの郷」にて、独身の男女30名を募集し、バーベキューを通じて、将来の農業を担う若手農業者と交流していただく企画としました。
3 成果 (効果)	紅葉の碓氷路で農業とふれあいながら農業男子と交流したい参加者を募集したところ、募集段階から定員を上回る応募がありました。イベント当日も約40名の男女が参加し、食事を楽しみながら会話も大いに弾み、楽しい交流会となりました。
4 今後の 予定(課題)	「婚活」サポート第2弾として、「農業男子と婚活」と題し、高崎市内のレストランを貸しきり、立食式のパーティーを企画しました(平成26年6月開催)。今後も、このようなイベントを通じて「農業男子」や「農業」の素晴らしさをPRし、今後の農業の担い手を助け、農村全体を元気にしていきたいと考えています。

募集パンフレット

BBQの様子



野菜重さあてゲームの様子



J A名：J Aバンク群馬（群馬県）

B-2 担い手のライフサイクルに応じた支援（セミナー・講演会等の開催）

農業法人春季研修会の開催

1 動機 (経緯)	農業法人の方々に対する経営や事業展開のサポート，またJ Aバンクとして県内の農業法人とのリレーション構築・強化にかかる取組みの一環として，農業法人春季研修会を開催しました。
2 概要	群馬県農業法人協会との共催により以下のとおり実施しました。 開催日：平成26年3月14日（金） 開催場所：マーキュリーホテル（群馬県前橋市） 講師：都築幹彦氏（元ヤマト運輸㈱代表取締役社長） 演題：危機と成長～どん底から始まった改革～
3 成果 (効果)	講師からはこれからの農業経営のあり方について，豊かな経営経験に基づき失敗談を含めながらご講演いただきました。 参加者からは実体験に基づく話が聞けて参考になった，今後の事業展開にあたりよい刺激を受けた等の感想をいただきました。 また，J Aバンクの取組みとして，2月の豪雪災害に対するJ Aバンク群馬の緊急対策資金等について紹介しました。
4 今後の 予定（課題）	大規模化や法人化に伴い農業者のニーズが多様化しています。今後とも農業法人の皆様のニーズに適した有益な情報提供や，経営サポートに取り組みます。

【会場の様子】



J A名：JAたかさき（群馬県高崎市）

C-1 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献（被災者への支援）

市と連携した平成26年2月豪雪災害への資金対応

1 動機 (経緯)	平成26年2月の豪雪により被災し、農業経営の維持及び継続が困難と懸念される農業者等へ、高崎市と連携し農業者災害等緊急対応資金制度（利子補給）により、ハウス等の再建や当面の経営に必要な資金等の融資対応を行いました。
2 概要	<ul style="list-style-type: none">■資金名：高崎市農業経営安定緊急資金■対象者：農業者（個人・法人）■使途：災害等の突発的な事由により経済的な影響を受けている農業者の経営維持及び継続に必要な資金（施設整備・負債等の使途は不可）■融資限度額：1,000万円（個人・法人）■融資期間：10年以内（据置期間2年以内）■返済方法：元金均等年賦償還（返済月は5月末・8月末・11月末より選択）■融資金利：利子補給後0%
3 成果 (効果)	農業者等からの建物復旧・再建に向けた資金相談へ対応しました。また、倒壊したハウスなどの建物の撤去や再建に関する国や県の補助事業等の相談対応も行いました。
4 今後の 予定（課題）	今後も資金相談等へ迅速に対応し、被災された農業者の復旧活動を支援していきます。

【ハウス解体作業の様子】



J A名：J Aにっただみどり（群馬県みどり市）

C-1 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献（被災者への支援）

平成25年9月竜巻災害に対する資金対応

1 動機 (経緯)	平成25年9月の台風18号に伴う竜巻災害により、管内ではビニールハウスの損壊や農作物の被害に見舞われました。J Aでは被害にあわれた方に対する支援の一環として、みどり市と連携し農業用施設の復旧等にかかる無利子資金の制度を整備し、資金の融通を行いました。
2 概要	貸付対象者：竜巻被害にあった農業者（個人・法人） 資金使途：農業用施設の復旧・再建に要する費用 経営維持・継続のための費用 貸付限度額：2,000万円以内 融資期間：15年以内（据置期間は資金使途に応じ3～7年以内） 返済方法：元金均等償還（年1回あるいは年2回払い） 貸付金利：利子補給後0%（J Aおよびみどり市で負担）
3 成果 (効果)	被災者からの資金相談、申込手続き等の対応を通じ、復旧への支援を行いました。結果として資金のご利用は13件、33百万円となりました。
4 今後の 予定（課題）	今後も突発的な自然災害に対し、スピード感をもって対応し、被害にあわれた方々の経営継続、復旧等に向けた支援に取り組めます。

【竜巻災害の様子】



J A名：J A前橋市（群馬県前橋市）

C-2 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献（地域住民の農業に対する理解促進）

前橋市農業まつりの開催

1 動機 (経緯)	前橋市農業まつりは「食」と「農」にふれあう多くのイベントを用意し、消費者の方々に農業に対する理解を深めていただくことを目的に開催しています。 特に今回は平成5年3月の合併により発足した当J Aの創立20周年を向かえ、同時開催した記念式典にも多くの関係者の方々にご参列いただくなど、盛大に開催することができました。
2 概要	開催日時：平成25年12月9日 開催場所：グリーンドーム前橋メインイベントエリア 【主なイベント】 <ul style="list-style-type: none">・管内農家が丹精こめて生産した「安全・安心」な地元産農畜産物の即売・地元産のお米「ゴロピカリ」に無料配布・牛井や餅，まえばしうどんの試食・配布・J Aバンクコーナーにおける貯金やローンチラシ，粗品の配布 など
3 成果 (効果)	創立20周年の記念式典では約200名の関係者の祝福をいただきました。また前橋市農業まつりには延べ25,000名の方々にご来場いただき，地元産の農畜産物の消費拡大や様々な食に関するPR，J A事業のPRを行うことができました。
4 今後の 予定（課題）	今回の取組みを含め，様々なイベントや活動を通じ，引き続き地域農業の振興や組合員・地域の皆様の生活，暮らしの向上に努めます。



当J Aイメージキャラクター
「じゃじゃゴン」

【当日の様子】



JA名：JA佐波伊勢崎（群馬県伊勢崎市）

C-2 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献（地域住民の農業に対する理解促進）

JA佐波伊勢崎フェアの開催

1 動機 (経緯)	子供から高齢者まで幅広い世代を対象とし、食の大切さや農業への関心を高めること、地元野菜の販売等を通じた地域農業の振興を図ること、JA事業の理解促進等を目的に、集客力の高い郊外型ショッピングモール「スマーク伊勢崎店」と協力し、イベントを企画しました。
2 概要	<p>開催日時：平成 25 年 12 月 7・8 日の 2 日間 開催場所：スマーク伊勢崎 1 F フロア はるなプラザ 主な実施事項は以下のとおり</p> <p>(1) JA佐波伊勢崎管内の農家にて生産した地元野菜の販売および同野菜を利用した試食コーナーや簡単調理体験コーナーの設置 (2) 高校生の社会体験学習の支援として、地元農業高校の考案した焼き菓子の販売ブースを設置 (3) 貯金のウィンターキャンペーンのPRとキャンペーングッズの展示 (4) JA各事業部の紹介</p>
3 成果 (効果)	<p>2 日間で延べ 1,237 名の来場者を迎え、地元野菜のPRを行うことができました。また試食品のライスサラダや調理体験いただいたライスピザはご好評をいただき、食と農への関心を深めることができました。</p> <p>なお平成 25 年ウィンターキャンペーンにおける定期貯金の新規獲得額は 2,037 百万円（目標 1,644 百万円）の実績を残すことができました。</p>
4 今後の 予定（課題）	今後も様々なJAらしい企画を立案し、食や農・JA事業に対する理解・関心を深める取組みを継続することが重要と考えています。

【会場の様子】



当JAイメージキャラクター
「ベジ太くん」



J A名：J A利根沼田（群馬県沼田市）

C-2 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献（地域住民の農業に対する理解促進）

J A職員による家庭菜園教室開催

1 動機 (経緯)	管内農地の有効活用に加え，地域にお住まいの一般の方々に食と農業の理解を深めていただくため，家庭菜園教室を開催しました。
2 概要	家庭菜園教室は平成 25 年 4 月から 12 月にかけて計 9 回開催しました。 第 1 日曜日を開催日とし，J A 担当者から土作りや適正な施肥の方法，また家庭菜園ならではの おすすめ 品種の紹介などを行いました。 なお利用地は，管内の農地を参加者にお貸しし，継続的に利用いただくこととしています。
3 成果 (効果)	参加者の方々には J A 担当者の説明に熱心に耳を傾けていただき，栽培管理の知識を深めていただくことができました。 また，農作業を通じ参加者との接点が図られ，J A 事業に対する理解を深めていただくことができました。
4 今後の 予定 (課題)	地域の方々に農業を身近に感じていただけるよう，また J A 事業の利用拡大につなげていけるよう，継続して実施していく予定です。



【家庭菜園教室の様子】



J A名：J A太田市（群馬県太田市）

C-2 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献（地域住民の農業に対する理解促進）

米作り体験を通じた地域の一体的な取り組み

1 動機 (経緯)	当組合管内の藪塚地区は、ホウレンソウ、紅小玉スイカなどの畑作物が盛んな地域です。水田は比較的少ない地域ですが、地元農家の協力を得て、J A・行政が連携し地元の小学生小学校や保育園・幼稚園の児童を対象に米作り体験を行っています。 米作り体験を通して普段食べているご飯がどのように作られているのかを知ってもらい、自分で作ったお米食べたときの喜びを感じてほしいとの思いからこの取り組みを実施しています。
2 概要	◎『米作り体験』の概要 ■参加者 地元小学校の子供たち 約300名（田植えは保育園・幼稚園児童も参加） 地元農業者とJ A職員が中心となって児童に米作りを教えます。 ■年間の取り組み 6月 田植え：水田に入り手で水田へ田植えを行います。 10月 稲刈り：鎌をもって子供たちが実際に収穫します。 ～12月 収穫後：収穫した米を給食等で食べます。また、一人暮らしや福祉施設に暮らすお年寄りへ、米袋に子供からのメッセージを書いたお米を配布しています。
3 成果 (効果)	○子供たちが米作りの大切さを体験し、農業への理解が深まりました。 ○お年寄りと子供たちの交流を通じて地域の活性化に貢献しました。
4 今後の 予定 (課題)	今後も、地域の伝統行事として次世代を担う児童に対し、農業生産の大切さや「食」を通じた自然との共生など食農教育に支援していきます。

【田植え風景】



【稲刈り風景】



J A名：J Aバンク群馬（群馬県）

C-2 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献（地域住民の農業に対する理解促進）

J Aバンクファミリーキャンプ

1 動機 (経緯)	J Aバンク群馬では、上毛新聞社と共催で県内の小学生親子を対象とした1泊2日の野外キャンプ「J Aバンクファミリーキャンプ in 宝台樹」を開催しました。地産地消をテーマに、イベントを通じて食農教育・金融教育を実施し、食や農業の大切さを考える機会を提供することを目的としています。
2 概要	■イベント名「J Aバンクファミリーキャンプ in 宝台樹 2013」 ■開催日時：平成 25 年 8 月 3 日（土）～4 日（日） ■参加者：群馬県内各地から、家族 82 組 328 人が参加しました。 ■内 容 ・会場内を散策しながら夕食の食材を集めるオリエンテーリングを開催し、参加者はチェックポイントを巡って、「ちょきんぎょ通貨」（擬似通貨）と野菜を引き換え、買い物体験をしました。 ・夕食は、講師による調理実演を見学した後、それぞれのテントに戻り、オリエンテーリングで集めた県産野菜を使ったカレー作りを楽しみました。 ・夕食後は、農業・食料やお金関することを題材とした〇×クイズ大会を行いました。
3 成果 (効果)	オリエンテーリングや料理教室、〇×クイズ大会を通して、参加者家族に、食と農に関する理解や金融への関心を深めていただきました。
4 今後の 予定（課題）	今後も小学生親子を対象にした食農教育と金融教育をテーマにした取組みを継続していきます。

【キャンプ風景】



J A 名：J A 赤城たちばな（群馬県渋川市）

C その他（地域貢献・社会に根ざした商品提供）

マレットゴルフ大会開催

1 動機 (経緯)	当 J A 管内には、市が運営するマレットゴルフ場があります。そのこともありマレットゴルフの競技人口は年々増加しており、組合員の間からも大会開催のニーズが高まりました。それに応えるため当組合では年金を受けている方々を中心に相互の親睦と福祉の向上を図る目的で、J A の金融部門が事務局となり、毎年マレットゴルフ大会を開催しています。
2 概要	マレットゴルフ大会は、各支所でも開催されており、年に 1 度、秋に当組合全体での大会を開催しています。 ■マレットゴルフ大会の概要 日時：平成 25 年 10 月 10 日（木） 場所：渋川市敷島緑地公園マレットゴルフ場 すがすがしい秋空のもと 118 人が参加。親睦と健康増進を図り日頃の練習の成果を発揮しようと腕を競い合いました。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>※マレットゴルフとは 通常のゴルフより大きなスティックとボールを用いるスポーツで、初心者から熟練者まで幅広いプレーヤーと一緒に楽しむことが可能です。またコースもほどよい長さに定められているため、競技をしながら自然の中を散策する感覚で子どもからお年寄りまで無理なく参加できます。</p></div>
3 成果 (効果)	○組合員の皆様の間での親睦と健康増進をはかることができました。 ○親睦の輪の中から、新規年金契約者の紹介にもつながりました。
4 今後の 予定（課題）	今年も事故もなく無事に開催できました。今後とも、参加者の皆様方が健康で元気にすごしていただくためにも、地域の方々と気軽に楽しく続けて地域の活性化に貢献していきたいと思えます。

【マレットゴルフ大会風景】



JA名：JAたのふじ（群馬県藤岡市）

C その他（地域貢献・社会に根ざした商品提供）

自動車免許定期積金

1 動機 (経緯)	高齢化が進む組合員対策の取組の一環として、また地域金融機関としての地域貢献を目的に、JA管内にある3つの自動車教習所と提携し、自動車免許取得にかかる資金の積立を目的に取扱をしています。								
2 概要	<p>■商品名：自動車免許定期積金</p> <p>■対象者：お子様を養育されている扶養者及びその同居家族で個人の方</p> <p>■特典：</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>契約特典1</td> <td>提携自動車教習所3社で利用できる「プレミアム優待券」をプレゼント。</td> </tr> <tr> <td>契約特典2</td> <td>積立金利は、店頭金利に0.1%金利上乘せ。またマイカーローン・教育ローンご利用時における借入金利は0.2%軽減を適用。</td> </tr> <tr> <td>※紹介特典</td> <td>お友達を紹介頂いた方へ、もれなく粗品のプレゼントあり。</td> </tr> </table>	項目	内容	契約特典1	提携自動車教習所3社で利用できる「プレミアム優待券」をプレゼント。	契約特典2	積立金利は、店頭金利に0.1%金利上乘せ。またマイカーローン・教育ローンご利用時における借入金利は0.2%軽減を適用。	※紹介特典	お友達を紹介頂いた方へ、もれなく粗品のプレゼントあり。
項目	内容								
契約特典1	提携自動車教習所3社で利用できる「プレミアム優待券」をプレゼント。								
契約特典2	積立金利は、店頭金利に0.1%金利上乘せ。またマイカーローン・教育ローンご利用時における借入金利は0.2%軽減を適用。								
※紹介特典	お友達を紹介頂いた方へ、もれなく粗品のプレゼントあり。								
3 成果 (効果)	○平成25年度実績 契約件数 428件 契約額 188,397千円								
4 今後の 予定(課題)	平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日まで）も引き続き取り扱いをしています。 また、免許取得後も教育ローン、マイカーローンを通じて継続的に金融面からサポートを行っていきたいと思います。								

自動車免許に掛かる費用を今のうちから用意しておきませんか？

自動車免許定期積金

【お取扱い期間】平成26年4月1日(火)～平成27年3月31日(火)まで

ご契約特典その1 自動車免許定期積金 をご契約の方へ 好評発売中

「JAたのふじ提携先自動車教習所」でご利用いただける「プレミアム優待券」と契約者全員にプレゼント!

ご契約特典その2 店頭金利+0.1% (マイカーローン・教育ローン金利軽減0.2%) さらに「紹介特典」でもれなく素敵なプレゼント!

コース	積立額	積立期間	対象
1年	27,000円	324,000円	高校3年生
2年	14,000円	336,000円	高校2年生
3年	9,000円	324,000円	高校1年生
4年	7,000円	336,000円	中学3年生
5年	6,000円	360,000円	中学2年生
6年	5,000円	360,000円	中学1年生
7年	4,000円	336,000円	小学6年生
8年	4,000円	384,000円	小学5年生
9年	3,000円	324,000円	小学4年生
10年	3,000円	360,000円	小学3年生

神流支店 ☎0274-23-4466 美九里支店 ☎0274-23-2415 西井支店 ☎027-387-3415
 美土里支店 ☎0274-22-2353 藤岡支店 ☎0274-22-4321 入野支店 ☎027-387-2072
 平井支店 ☎0274-23-1311 小野支店 ☎0274-22-0012 万場支店 ☎0274-57-2201

金融共済部 ☎0274-20-1881

JAたのふじ

J A名：J A孺恋村（群馬県孺恋村）

C その他（地域貢献・社会に根ざした商品提供）

J A年金受給者への取組み

1 動機 (経緯)	年金受給対象者の増加に伴って、J A年金受給者も増加しています。当J AではJ Aと年金受給者のつながりを深め、地域活性化のためのコミュニケーションの場を提供する活動を展開しております。
2 概要	J A孺恋村管内の年金受給対象者の人口は、約3,800名と小規模な地域ですが、当J Aにおいては従来から組合世帯、地域との密着度が強く、年金受給対象人口に占めるJ A年金受給者の割合は平成26年2月現在、41.0%となっております。J A管内の占有率が高いこともあり、組合員のみならず、地域間のコミュニケーションの場としても年金友の会の各行事をご利用頂けています。年金友の会の行事は運動が主であり、グラウンドゴルフ、マレットゴルフ、ゲートボール、ゴルフ、他には囲碁・将棋大会、集団保養と多岐に渡り、各々が参加しやすい行事に楽しみをもって参加して頂いております。
3 成果 (効果)	多くの方に参加いただき各行事を実施することができました。年金受給対象者に占めるJ A年金受給者の割合も前年比で0.4%増加となりました。
4 今後の 予定(課題)	今後も高い占有率を維持しつつ、組合員・地域住民の憩いの場を提供し続けられるJ Aの組織作りに励んでまいります。 課題としましては、各行事への参加者数はほぼ横ばいではありますが、趣味の多様化により行事内容の変更等も柔軟に対応していくことや、各行事へは出来るかぎり多数の役職員も出席し、J Aと会員との距離をより近づける努力が必要と考えています。

【グラウンドゴルフ大会】



【ゲートボール大会】



【マレットゴルフ大会】



【集団保養】





JAバンク群馬

(農林中央金庫前橋支店)



ちよきんぎょ®